

光設計研究グループ第 60 回研究会「バーチャルリアリティとウェアラブル」

今年、PlayStationVR や Oculus Rift などに代表されるバーチャルリアリティシステムのリリースが相次ぎ、バーチャルリアリティやウェアラブルデバイスがいよいよ身近な存在になりつつあります。本研究会では、これらの光学系やデバイス・コンテンツの作成・産業応用など、多方面にわたる研究開発についてご講演いただく予定です。研究会後には講演者を交えた懇親会も予定しておりますので、この機会にぜひご参加いただき、交流を深めていただければ幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

期 日：2016 年 10 月 21 日(金)

場 所：板橋区立グリーンホール（〒173-0015 東京都板橋区栄町 36-1）東武東上線大山駅北口徒歩約 5 分，都営三田線板橋区役所前駅 A3 出口徒歩約 5 分

主 催：日本光学会光設計研究グループ

協 賛：応用物理学会ほか

参加費：光設計研究グループ個人会員 4,000 円，光設計研究グループ学生会員 無料，一般 10,000 円，学生一般 2,000 円，日本光学会および共催・協賛団体個人会員 8,000 円，光設計研究グループ賛助会員企業 8,000 円，日本光学会および共催・協賛団体学生会員 1,000 円。当日、受付にてお支払いください。

定 員：200 名。定員になり次第締め切ります。定員オーバー後の申し込みはその旨ご連絡します。

参加申込：氏名(フリガナ)，所属，住所，電話，Fax，E-mail，参加区分(参加費参照)，懇親会参加の有無(懇親会費 2,000 円)を，E-mail にて下記申込先までお送りください。

申込先：菊地 正(キャノン)

〒321-3298 栃木県宇都宮市清原工業団地 23-10

キャノン(株) イメージコミュニケーション事業本部
光学技術 33 開発室

電話 028-667-5711 E-mail k60reg@opticsdesign.gr.jp

問合せ先：岩井広成(サイバネットシステム)

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 3

サイバネットシステム(株) CAE 第 1 事業本部オペティ
カル事業部技術部

電話 03-5297-3424 E-mail k60@opticsdesign.gr.jp

* プログラムは研究グループのホームページでご覧になれます。URL <http://www.opticsdesign.gr.jp/>

平成 28 年度コニカミノルタ画像科学奨励賞公募

近年の信号処理技術の発展に伴い、画像領域は大容量の情報伝達手段や高速画像処理と融合し大きく変化しています。また、画像領域の材料・デバイスはナノテク領域へ拡大し、医学分野では、ライフサイエンス領域まで展開されています。光の領域では、光は通信の役割だけでなく、微弱信号の検出や環境・エネルギー分野で多大な貢献をしています。これらさまざまな研究分野における光および画像技術の応用や斬新な発想による挑戦的な研究のご応募をお待ちしております。

募集分野：以下の 3 分野に分けてテーマを募集します。

- ①光と画像に関する材料およびデバイスの研究，
- ②光と画像に関するシステムおよびソフトウェアの研究，
- ③光と画像に関するその他の先端的な研究

応募資格：日本の大学，国公立および公益研究機関に所属する研究者で，個人またはグループを応募資格とします。ただし，年齢は応募締切日 9 月 30 日時点で 40 歳以下(グループは代表者)とします。

概 要：

- (1) 奨励賞および副賞：①奨励賞(優秀賞) 3 件程度(副賞 1 件 100 万円)，②奨励賞 9 件程度(副賞 1 件 50 万円)
- (2) 奨励賞を受けられた方には，1 年後「研究経過報告書」を提出していただきます。

選考委員会および選考基準等：

- (1) 選考委員会：三宅洋一千葉大学名誉教授を委員長とする「選考委員会」で厳正に選考します。
- (2) 選考基準：「発想の独創性」「計画の具体性」「波及効果」「実現性・実用性」の 4 項目で評価します。この中で、「発想の独創性」を最も重視します。

応募方法：

- (1) 申請書：コニカミノルタ科学技術振興財団ホームページ <http://konicaminolta.jp/pr/foundation/> より，申請書のフォーマットをダウンロードしてご利用ください。
- (2) 応募：上記ホームページよりエントリーのうえ，2016 年 9 月 30 日までに応募申請書をご郵送ください。
- (3) 結果通知：2017 年 1 月以降
- (4) 注意事項：①申請書はご請求がない限り返却いたしませんのでご了承ください(他資料添付は不要)。②受賞された研究についての学会発表(論文，口頭)の

際は本助成を受けた旨を明記してください。③入選者の氏名や研究テーマを当財団ホームページで公表します。また、新聞、雑誌、インターネット等で掲載される場合もあります。

財団事務局 / 申請書宛先:

〒100-7015 東京都千代田区丸の内2-7-2 コニカミノルタ株式会社内
公益財団法人コニカミノルタ科学技術振興財団事務局
電話 03-6250-2120

第58回光波センシング技術研究会講演会

期 日: 2016年12月8日(木)~9日(金)
場 所: 東京理科大学神楽坂校舎森戸記念館(〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-2-2)
主 催: 応用物理学会光波センシング技術研究会
協 賛: 日本光学会ほか
問合せ先: 応用物理学会・光波センシング技術研究会事務局 佐々木 豊
〒184-0005 東京都小金井市桜町1-10-32
電話 & Fax 042-381-0446 E-mail yssk@s.email.ne.jp
URL <http://annex.jsap.or.jp/kohasensing/>

第141回微小光学研究会「メディカル・バイオフィotonicsに革新をもたらす微小光学」

アップルの故スティーブ・ジョブズ氏は、生前「21世紀のイノベーションは、テクノロジーと生物学が交差するところで生まれる」と予言したそうです。今回は、メディカル・バイオフィotonicsと微小光学が交わる場所に注目してさまざまなテーマを取り上げます。講演の中から、私たちの将来に革新をもたらす新しい光技術の方向性が垣間見えてくるのではないのでしょうか。

期 日: 2016年9月29日(木)
場 所: 早稲田大学西早稲田(理工)キャンパス55号館1階大会議室(〒169-8555 新宿区大久保3-4-1)
<http://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus> JR山手線高田馬場駅から徒歩15分、西武新宿線高田馬場駅から徒歩15分、副都心線西早稲田駅直結
問合せ先: 井藤幹隆 (NTT)
E-mail itoh.mikitaka@lab.ntt.co.jp
URL <http://www.comemoc.com/>

JOEM「奥行き知覚と立体表現」セミナー

日 時: 2016年10月20日(木) 13:00~17:00
場 所: 機械振興会館地下3階6号室(東京都港区芝公園3-5-22)
主 催: 日本オプトメカトロニクス協会
協 賛: 日本光学会, 日本光学工業協会ほか
参加費: 協賛15,120円(テキスト・消費税含む)
定 員: 35名
申込期限: 2016年10月13日(木)
問合せ先: 日本オプトメカトロニクス協会
電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567
E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

JOEM「光学素子加工技術入門」技術講座

日 時: 2016年10月25日(火) 10:00~18:00, 26日(水) 9:00~17:10, 27日(木) 9:00~17:00
場 所: 機械振興会館別館4階(東京都港区芝公園3-5-22)
主 催: 日本オプトメカトロニクス協会
協 賛: 日本光学会, 日本光学工業協会, 精密工学会, ニューガラスフォーラム, 砥粒加工学会
参加費: 協賛95,040円(テキスト・消費税含む)
定 員: 24名
申込期限: 2016年10月18日(火)
問合せ先: 日本オプトメカトロニクス協会
電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567
E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

JOEM「光学薄膜技術」技術講座

期 日: 2016年12月7日(水)~8日(木)
場 所: 機械振興会館別館4階(東京都港区芝公園3-5-22)
主 催: 日本オプトメカトロニクス協会
協 賛: 日本光学会ほか
参加費: 協賛79,920円(テキスト・消費税含む)
定 員: 22名
申込期限: 2016年11月30日(水)
問合せ先: 日本オプトメカトロニクス協会
電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567
E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 *news* の掲載申込先：

〒192-8512 東京都八王子市久保山町 2-3 オリパス(株) 技術開発部門光学システム開発本部
天内隆裕 電話 042-691-7194 Fax 042-691-7573 E-mail t_amanai@ot.olympus.co.jp
なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合
は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。
掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2016年9月1日現在の本学会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

(株)アルゴ
ウシオ電機(株)
オプトシリウス(株)
(株)オプトロニクス
オリンパス(株)
キヤノン(株)
(株)清原光学
(株)光学技研
興和(株)
(株)五藤光学研究所
コニカミノルタ(株)
(株)シグマ
シチズンホールディングス(株)
(株)昭和オプトロニクス
ソーラボジャパン(株)
(株)タムロン
中央精機(株)
テルモ(株)

(株)東芝
(株)東精エンジニアリング
(株)トプコン
(株)ナックイメージテクノロジー
(株)ニコン
(株)ニデック
日本板硝子(株)
(一社)日本オプトメカトロニクス協会
Phase One Japan(株)
富士フイルム(株)
古野電気(株)
(株)溝尻光学工業所
三菱レイヨン(株)
ユニオプト(株)
(株)リコー
ルーメスソフト(株)

以上 会員数 35 社, 50 口 (五十音順)

「応用物理」第 85 巻第 9 号 (2016 年 9 月号) 予定目次

解説

電気化学界面におけるその場ラマン分光解析 伊藤 隆
半導体デバイス加工におけるプラズマ制御技術 辰巳哲也
単一光子から単一電子スピンへの変換と検出
一電気制御量子ドットの電子スピンをを使った量子中継に
むけて 大岩 顕
有機ヘテロ界面における電子準位接続 赤池幸紀
最近の展望
スマートコミュニティの最新状況と今後の展望
..... 小坂田昌幸, 広岡浩一

研究紹介

有機レドックス分子を用いたスーパーキャパシタ
..... 本間 格, 菅居高明

低温プラズマ技術を取り入れた低侵襲な手術用止血装置

..... 宮本健司, 池原早苗, 榎田 創, 池原 謙

基礎講座

物質拡散係数測定技術のコツ 長坂雄次
ホッとひといき
ロボット創りに夢をのせて 高橋智隆

Inside Out

Global competency for engineers Laurent TRANCHANT
Science As Art
WS₂の閃光 森 勝平, 宮田耕充